



2025 年 11 月 27 日
滋賀県

—欧州記者団が滋賀県に訪問—

日本トップレベルの“長寿のヒケツ”を探りに滋賀県を取材

滋賀県は、2025 年 11 月 21 日（金）、欧州のメディア関係者ら 20 名を滋賀県庁に迎え、長寿県としての「健康しが」の魅力を紹介しました。健康や長寿に関する取組を取材するために来県した記者団に対し、「滋賀の健康寿命」をテーマとしたスライドを用いて、健康長寿に向けた取組、発酵食など健康につながる文化、滋賀県ならではのツーリズムである「シガリズム」等を紹介しました。また、本県が誇る「ふなずし」や地酒の試食体験も行い、滋賀県の魅力を体感してもらいました。今回の取材を通じて、「滋賀県は健康長寿県」であることを発信しました。

欧州記者団の訪問概要

■会 期：2025 年(令和 7 年)11 月 21 日（金）13:30～15:00

■場 所：滋賀県庁本館 3 階 会見室

■記者団の構成国：5 か国（イギリス、ドイツ、オランダ、ベルギー、オーストリア）

■参加人数：20 名

■記者団の概要：

「健康的な高齢化」をテーマに、ヨーロッパヤクルトグループの各販売会社が招待したメディア記者やジャーナリストなど、欧州 5 か国からなる 20 名の記者団。2025 年 11 月 16 日（日）から 22 日（土）にかけて、厚生労働省や滋賀県庁等を訪問するプレスツアーを実施。

「健康しが」に欧州記者が注目 長寿を支える滋賀県の豊かさと生活習慣を紹介

滋賀県では、県民一人ひとりの健康づくりと、それを支える地域環境の整備を進める「健康なひとづくり」「健康なまちづくり」を軸に、健康寿命のさらなる延伸と健康格差の縮小を目指しています。こうした総合的な取組を、滋賀県では「健康しが」と総称しています。

当日は欧州記者団に対し、英語のスライドを用いて、滋賀県の健康長寿を支える生活習慣、文化や取組について紹介しました。厚生労働省の「令和 2 年都道府県別生命表」によると、滋賀県の男性の平均寿命は 82.73 歳で全国 1 位、また女性の平均寿命は 88.26 歳で全国 2 位であり、滋賀県が長寿県であることを説明しました。長寿の秘訣として「心の健康」「体の健康」の 2 つがあることに言及し、それを支える滋賀県の豊かな環境と、豊かな食文化、また健康的な生活習慣を紹介しました。

健康的な生活習慣の例として、喫煙率の低さや、スポーツ・ボランティア活動への高い参加率など、県民の主体的で健康的なライフスタイルを説明しました。また、「健康しが」の具体的な取組として、歩くことを楽しく促す健康増進アプリ『BIWA・TEKU』や、滋賀の自然・文化の中で心身のリズムを整える「シガリズム」という観光のコンセプトにも言及しました。

※参考：シガリズム (<https://shigarhythm.biwako-visitors.jp/>)

健康しが(<https://www.kenkou-shiga.jp/>)



当日のプレゼンテーションの様子



説明を受ける欧州記者団の様子

滋賀の発酵食文化に欧州記者が熱視線 「ふなずし」試食で“長寿の理由”を体感

滋賀県の紹介として、琵琶湖の恵みを生かした湖魚料理や近江米、近江牛、日本酒などの食文化、また信楽焼などの伝統工芸、比叡山延暦寺や彦根城といった歴史・文化遺産を通して、本県の多彩な魅力について言及しました。その中でも、特に記者団の関心を集めたのが、滋賀県の発酵文化を象徴する伝統食「ふなずし」です。琵琶湖固有のニゴロブナを塩と飯で丁寧に漬け込み、長期間発酵させる独自の製法は、千年以上受け継がれてきた滋賀県ならではの食文化。会場では、仕込みの工程や発酵のメカニズムを紹介しました。

また、「ふなずし」と日本酒を実際に味わってもらうために、試食・試飲として提供。特に「ふなずし」は、多くの欧州記者が初めて口にする味わいに驚きを見せつつも、「すっぱいが味が濃くて美味しい」「日本酒に合う味だ」「オランダにも似た味の魚料理がある」といった感想が寄せられました。単なる“珍しい料理”ではなく、自然環境・伝統文化・健康意識が結びついた滋賀県ならではの“食の知恵”として、記者たちの理解が深まる場面となりました。



「ふなずし」を試食する欧州記者



日本酒を試飲する欧州記者

欧州記者団から滋賀県担当者への質疑応答

記者団から、滋賀県について「平均寿命はどうやって延びたのか」といった、寿命の延伸に関する質問が複数出ました。それぞれの質問に対して、担当者が通訳を交えて回答。平均寿命が延びていることについて、医療の発展を前提としながらも、滋賀県ではボランティア活動が盛んであることなど、県民が主体的に「健康なまちづくり」に取り組んでいることと相関関係があるのでは、という考えを示しました。

また、県民・企業・大学・地域団体が健康づくりのアイデアを共有し連携を深める場である『「健康しが」共創会議』を紹介しました。

「シガリズムはどんな特徴があるのか」といった健康づくりにつながる観光の取組についても質問があり、担当者は「日本一の琵琶湖を自転車で一周する“ビワイチ”により、体の健康と心の健康の両方にいい影響を与える」としました。

欧州記者団にとって、今回の滋賀県への訪問が「滋賀県は健康長寿県」であることの理解を深める機会となりました。

欧州記者団代表ケイトさんのコメント

今日の滋賀県への訪問により、滋賀県が県民の健康をよく考えて、色々な取組をしていることを知った。また、健康長寿のためには、ひとつのことだけに取り組むのではなくて、多角的・継続的な取組が必要だと分かった。滋賀県が定期的に状況を把握しながら、健康への取組を継続して行っているということは、本当に意義のあることだと思った。



欧州記者団と滋賀県職員の集合写真